

牛馬の神様に奉納



4月12日、日枝神社(輝北町市成)で「輝北畜産まつり」が開催されました。これは牛馬の神様を祀る日枝神社で毎年開催されているもので、当日は1,000人が来場。境内には出店が立ち並び、ステージショーや子牛1頭が当たる「お楽しみ抽せん会」が実施されるなど、会場は賑わいました。

子牛44頭が鳴之尾牧場に入牧



4月10日、市営鳴之尾牧場(有武町)で「春の入牧式」が行われました。強い風が吹き激しい雨が降るなか、優れた乳用牛に育成するために預けられた44頭の子牛が元気いっぱい走りながら入牧。子牛は2か月ほど牛舎で育てられたあとに放牧され、約1年間同牧場で過ごす予定です。

交通安全を決意



4月6日、イオンかのやショッピングセンター駐車場(白崎町)で「春の全国交通安全運動及び鹿屋市地域安全運動出発式」が行われました。当日は鹿屋小学校金管バンドによる演奏と安全安心を願う「交通安全宣言」が行われたほか、参加した約150人が交通安全を呼びかけました。

子どもたちのために役立ててほしい



4月1日、株式会社南九から本市に1,500万円が寄附されたため、市役所で贈呈式が行われました。(株)南九の山下伸也 代表取締役は「地元へ貢献したい。未来を担う子どもたちのために役立ててほしい」と話し、市長は感謝の言葉を述べたあと、感謝状とバラの花束を手渡しました。

英語での交流を図る



4月21日、南小学校で同校児童と台湾のキンジアン小学校18名の交流が行われました。これは鹿屋市グローバル教育推進事業の一環で、令和7年2月の協定締結からこれまでオンライン交流を行ってききましたが、対面交流が初めて実現。児童たちは英語とジェスチャーで交流を図りました。

東部消防署新庁舎が完成



4月15日、大隅肝属地区消防組合東部消防署(串良町下小原)で庁舎落成式が行われました。鹿屋市長をはじめ、構成自治体の首長や建設に関わった企業の代表者など約50名が出席し、地域を守る新たな拠点の門出を祝い、活躍を祈願しました。式後には訓練披露や庁舎見学も行われました。

若者たちの第一歩を歓迎



4月8日、鹿屋商工会議所(新川町)で「鹿屋市中小企業合同入社式」が行われました。当日は市内の13事業所から52人が参加。式辞や新入社員への激励が行われたあと、新入社員を代表して、税理士法人風呂井会計の中塩屋かすみさんが決意表明を行いました。

吾平小学校、新たな一歩を踏み出す



4月8日、3月に閉校した鶴峰小学校と新たな一歩を踏み出す吾平小学校の統合を記念し、式典が行われました。式典に参加した児童や関係者約120名は、両校が築いてきた輝かしい歴史と伝統を継承し、児童たちが新たな環境で共に学び、成長していくための門出を祝いました。

春の心地よいひとときを



4月19日、城山公園でマルシェイベント「第2回城山ホリディ」が開催されました。当日は雨天にもかかわらず、15店舗の出店と約700人の来場者で賑わいました。

人材育成に活用して



4月16日、株式会社NEOから本市へ10万円が寄附されました。赤崎ひろひさ 代表取締役は「産業を支える人材の育成と雇用創出の取り組みに活用してほしい」と話しました。

目指せ!!日本一



4月8日、MORI ALL WAVE KANOYAの選手及び関係者が、4月から11月までの今シーズンの開幕を前に市役所を訪れ、抱負を述べるとともに今シーズンの活躍を誓いました。

夢の第一歩を鹿屋で



4月7日、鹿屋看護専門学校入学式が開催されました。今年は、18歳から32歳までの26名が入学し、夢の実現に向けて確かな一歩を踏み出しました。

期待を胸に



4月8日、鹿屋女子高校入学式が開催されました。今年は130名の新入生が入学。新入生を代表して、中村咲月さんが誓いの言葉を述べました。

鹿屋で頑張ります



4月6日、リナシティかのやで「新規採用・転入教職員宣誓式」が開催され、新規採用教職員を代表して、鹿屋東中学校の前田愛子教諭が宣誓を行いました。